



3年ぶりのリアル開催

第70回 日本PTA全国研究大会～山形大会 速報ルポ



令和4年度茨城県PTA連絡協議会 会長 畠山 佳樹

8月26日・27日、山形県内にて「人とひとのつながりを体感しよう!」をテーマに全国研究大会が開催されました。茨城県からは34名が参加しました。1日目は特別第1分科会に参加。「令和の日本型学校教育を支援するPTA活動」について学びました。特に、バツカズ寺子屋塾長木村校長先生の「これからの時代、自分で考え、自分の意志で行動する子どもを育てたい。子どもが学び方(聞く、読む、書く、話す)をしっかり身につけ、志(生きる目的)を持つことが大切。そのためには、保護者が率先して自分を磨き、子どもが成長できる安定した家庭を築くことも立派な学校教育支援です。」との話に思わず唸りました。2日目の全大会は、サテライト会場を含め3会場合わせて6,500名が集い、オーケストラ指揮者である飯森範親先生にご講演をいただきました。2日間多くの学びがありましたが、紙面に限られますので、皆様には後日、動画配信にて直接ご確認をいただければ幸いです。今後、茨城県から参加したみなさんが山形大会で得た感動が冷めないうちに、市町村P連や各単位PTAにその熱を伝えてくれることを期待しています。

「子どもたち・学校」の環境整備を要望!

いばらき自民党政務調査会 文教警察部会関係団体懇談会

8月29日、ホテルレイクビュー水戸において「いばらき自民党政務調査会 文教警察部会関係団体懇談会」に初めて参加しました。当会は不偏不党を旨として、今までは参加を見送っておりましたが、子どもたちのためには対外的な発信と協力を仰ぐことも必要と考え、今回の取り組みとなりました。関係団体のみなさんからも、それぞれの立場から、子どもたちのために、学校のためにさまざまな要望が出て、大変強く感じました。県議からも私たちP連の要望に関するコメントが多く聞かれました。引き続き外部への発信に取り組んでまいります。

[参加] 文教警察委員会県会議員7名、参議院議員1名、永岡文科大臣(茨城選出)秘書1名、当会の他、県高P連、県学校長会等8団体、それぞれ意見要望を述べたのち、県議からの質問に回答いたしました。当会からは、以下6点要望いたしました。

- ①学校の働き方改革に関する学校への人的・財政的支援強化
- ②部活動の地域移行に対する保護者負担への財政支援
- ③通学路の交通安全のための取り締まり強化
- ④横断歩道一時停止強化のための県全体でのマナーアップ
- ⑤ヤングケアラー対策の強化
- ⑥県内一律の給食費負担無償化

参加 畠山会長

子育てネットワーク委員会から

7月24日～1ヶ月間、「子どもの心を強くするすごい声かけ」の講師である足立啓美先生の研修動画の配信を行いました。

日常において、大人が先回りをして、こうすべきだという「正義オウム」や「心配オウム」になってしまうことがあります。まだ起こっていない未来にマイナスイメージを膨らませることはあまりプラスにならないことが多いです。大事なことは、保護者が子どものよき理解者であり、「応援オウム」になることかもしれません。子どもができていることや強みに焦点を当て、「今できることからやってみよう！」等、声掛けをすることで、子どものポジティブな行動につながっていきたいですね。 ※〇〇オウムとは、養育スタイルをオウムに例えたものです。

まずは
やって
みよう！



応援オウム

茨城県・茨城県教育委員会等の会議レポート

〇県西地区指導者研修会第2分科会(8/6) 参加 菊池副会長

スクールカウンセラーの戸田周公先生による講義。学校や家庭での子どもたちに与えるストレス。そのストレスから起こる防衛反応に対して周りの大人達はどう対応すべきかを聴き、改めて家庭の内外で安心できる場所づくりは大切だと感じました。

〇令和4年度 第1回茨城県青少年健全育成審議会(8/30) 参加 美間副会長

幼児から高校生まで、それぞれの区分ごとに優良図書推奨の審議を行いました。子どもたちが読書を通して、感受性を磨き、もっと深く知りたいというきっかけづくりになることを願っています。情報交換をする中で、コロナ禍で大人の心も大きく揺らいでいること、地域の活動が少なくなっていることから、家庭、学校以外での子どもの居場所が減少していることなどが不登校に拍車をかけているとの意見もありました。大事なことは、『子どもが自分自身の意見や声を出せる場があること』だと学びました。

〇令和4年「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト」合同研修会(8/31) 参加 樋口副会長

今回は「若者が抱える生きづらさ」と題し、主に引きこもりについての講話がありました。声のトーンやスピード、言葉の量を相手に合わせ、反応を注意深く見ることの重要性など、多岐に渡る接し方を学びました。改めて心の問題の難しさを感じ、孤立をさせないための居場所づくりや声かけなどのきめ細やかな対応が救いとなることを強く伝えていきたいと思いました。

茨P連では、令和4年度県および関係団体等の56の会議に役員等が出席し、「子どもたち・学校・地域・生活」に関することについて、子育て世代の目線から伝えていきます。また、研修会やWebなどでその情報を発信してまいります。

(一社)茨城県 PTA 安全互助会からのお知らせ

例年、この時期に奉仕作業での事故(刈払機を使用中、小石が飛んで車の窓ガラスを割る)や、運動会・体育祭での熱中症などが発生していますのでご注意ください。もし事故や損害が生じたら互助会までお問い合わせ下さい。互助会は会員の皆様が安心して活動できるよう、PTAの保健室として共済金と見舞金の給付事業に取り組んでいます。



News 「愛の記録」朗読番組がスタート！

茨Pで57年間取り組んでおります保護者の子育て体験記「愛の記録」が、9月3日からFMひたち、子育て応援番組「すくすく☆サタデー」の番組内で作品の朗読がスタートしました！ ぜひ、聴いてみてね！！

[放送局]FMひたち [放送日時] 毎週土曜日 12:21～(約10分)

*放送エリア以外の方は、アプリ「リッスンラジオ」からお聴きいただけます。(生配信のみです)